



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 大同特殊鋼株式会社

コード番号 5471 URL <http://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋尾 正

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 東 真一郎

TEL 052-963-7501

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	335,785	△8.3	12,095	△48.9	12,301	△47.8	7,803	△51.1
24年3月期第3四半期	366,307	4.4	23,686	△11.2	23,576	△9.8	15,951	△16.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 7,898百万円 (△34.9%) 24年3月期第3四半期 12,133百万円 (△38.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	17.99	—
24年3月期第3四半期	36.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年3月期第3四半期	496,140		235,559		40.8
24年3月期	512,968		231,512		38.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 202,371百万円 24年3月期 198,653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.50	—	4.00	7.50
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	△10.0	13,500	△57.2	13,500	△57.5	8,500	△62.6	19.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付書類】P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	434,487,693 株	24年3月期	434,487,693 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	736,111 株	24年3月期	713,325 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	433,767,564 株	24年3月期3Q	433,806,161 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
(1)	四半期連結貸借対照表	5
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	7
	四半期連結包括利益計算書	8
(3)	継続企業の前提に関する注記	9
(4)	セグメント情報	9
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4.	補足説明資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初は東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果から緩やかな回復が続きましたが、当期半ばからは海外経済の減速と円高定着による輸出の減少を主因として後退局面に入りました。特殊鋼の主要需要先である自動車・産業機械・IT関連需要に関しても、政策効果の一巡に伴う反動減や海外景気の減速、在庫調整の長期化等を背景として、一段と厳しい需要局面となっております。

このような経営環境のもと当社グループにおきましては、急激な需要変化に対して柔軟に対処するとともに、知多工場製鋼プロセス合理化等の事業課題に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内外需要の減少と産業機械向けを中心とした在庫調整影響等により、前年同期比305億21百万円減収の3,357億85百万円となりました。また、経常利益につきましても、売上高の減少および知多工場における工事関連費用が発生したこと等から、前年同期比112億74百万円減益の123億1百万円、四半期純利益は78億3百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値によっております。

①特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材部門につきましては、産業機械向けの需要低迷が長期化していることに加え、日系自動車関連についてもエコカー補助金の終了や中国での販売不振影響等を受け、前年対比の売上数量は減少いたしました。

こうした需要環境のもと当社におきましては、需要動向変化を注視しつつ夏季電力制約や知多工場の大型工事に対応するために生産平準化と備蓄運営を実施し、併せてコスト削減についても継続して取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の減少と鉄スクラップ価格に連動した販売価格の見直しにより、前年同期比11.3%減少の1,303億36百万円となり、営業利益についても前年同期比46億15百万円減益の28億81百万円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレスおよび高合金製品につきましては、産業機械向け需要の低迷とHDDをはじめとするIT関連需要の在庫調整により低位に留まりました。磁材製品に関しては、タイの生産拠点が復旧し生産活動を再開しましたが、HDD磁石の需要低迷に加え、FAサーボモーター磁石が在庫調整影響を受けたことから、前年対比の売上高は減少いたしました。粉末製品に関しては、ハイブリッド車の販売好調などを受け高水準の需要が継続したことから、売上高は増加いたしました。チタン製品に関しても、欧州向け輸出は低位に留まったものの、国内販売の拡大と販売価格の見直しによって売上は増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、主要製品の需要低迷とステンレス、磁石製品の販売価格がニッケルおよびレアアース価格の値下がりに関連したことから、前年同期比16.3%減少の1,037億83百万円となり、営業利益についても前年同期比55億34百万円減益の51億22百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品につきましては、航空機関連需要は堅調に推移しているものの、欧州および新興国の景気減速と為替の円高影響から輸出が伸び悩んでおり、低位に留まっております。精密鋳造品に関しても、欧州景気の低迷と為替の円高影響からターボ関連需要が低調に推移いたしました。型鍛造品につきましては、東南アジア向けトラック部材と北米の鍛造子会社は堅調な生産を続けておりますが、産業機械向け需要の低迷と自動車の生産調整を受けたことから、売上高は減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比0.7%減少の702億45百万円となり、営業利益についても前年同期比6億28百万円減益の26億56百万円となりました。

④エンジニアリング

エンジニアリング部門につきましては、環境関連設備および磁石製造関連会社向け工事の進捗により、昨年対比の売上高は増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のエンジニアリングの売上高は、前年同期比42.5%増加の246億40百万円となりましたが、営業利益については工事案件の内容変化等により前年同期比7億円減益の4億84百万円となりました。

⑤流通・サービス

流通・サービス部門につきましては、海外商社の需要減少影響等により当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比7.5%減少の67億79百万円となり、営業利益についても前年同期比1億10百万円減益の9億54百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ168億27百万円減少し4,961億40百万円となりました。総資産の主な減少の内訳と要因は次のとおりです。

・「受取手形及び売掛金」の減少191億9百万円…主として売上の減少による減少。

また、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産額は、前連結会計年度末に比べ40億46百万円増加し2,355億59百万円となりました。純資産額の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

・「利益剰余金」の増加47億66百万円…主として四半期純利益78億3百万円の計上による増加。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は40.8%となり、前連結会計年度末と比べ2.1ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の日本経済は、海外景気の持ち直しや為替の円安移行による輸出回復を起点として今後持ち直していくことが期待されていますが、特殊鋼の主要需要先である自動車および産業機械・IT関連需要は依然として低位に留まっており、不透明な状況が継続しております。また、鉄スクラップ等の原材料価格に関しても上昇傾向にあり、当面は厳しい経営環境が続いていくと考えております。

このような経営環境のなか当社グループにおいては、徹底したコスト削減への取組みによって収益確保に努めるとともに、知多工場への戦略投資をはじめとする事業基盤の強化と、磁石・ターボ部品・粉末材料といった成長商品の拡大戦略を推進し、昨年3月に発表した2014中期経営計画の諸施策を着実に実行してまいります。

以上の状況を踏まえ当期の連結業績につきましては、売上高4,400億円、営業利益135億円、経常利益135億円、当期利益85億円と想定しており、前回(平成24年10月31日)公表した業績予想を修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,161	54,906
受取手形及び売掛金	102,995	83,885
たな卸資産	90,920	92,664
その他	9,139	8,671
貸倒引当金	△251	△345
流動資産合計	264,965	239,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,669	52,858
機械装置及び運搬具(純額)	62,488	61,467
その他(純額)	43,253	44,531
有形固定資産合計	156,412	158,857
無形固定資産		
のれん	1	220
その他	2,521	3,373
無形固定資産合計	2,523	3,594
投資その他の資産		
投資有価証券	62,021	63,538
その他	27,446	30,515
貸倒引当金	△400	△146
投資その他の資産合計	89,067	93,907
固定資産合計	248,003	256,358
資産合計	512,968	496,140

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,163	66,939
短期借入金	48,024	45,471
1年内償還予定の社債	800	10,800
未払法人税等	2,004	612
賞与引当金	6,713	2,614
その他の引当金	426	203
その他	20,119	18,219
流動負債合計	150,251	144,859
固定負債		
社債	40,100	30,050
長期借入金	66,764	60,776
退職給付引当金	6,799	6,880
その他の引当金	1,315	1,288
その他	16,225	16,726
固定負債合計	131,204	115,722
負債合計	281,456	260,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,542	28,542
利益剰余金	126,843	131,610
自己株式	△335	△345
株主資本合計	192,223	196,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,456	5,270
繰延ヘッジ損益	△6	△0
土地再評価差額金	1,654	1,654
為替換算調整勘定	△1,673	△1,532
その他の包括利益累計額合計	6,430	5,391
少数株主持分	32,858	33,187
純資産合計	231,512	235,559
負債純資産合計	512,968	496,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	366,307	335,785
売上原価	305,791	287,826
売上総利益	60,515	47,959
販売費及び一般管理費	36,829	35,863
営業利益	23,686	12,095
営業外収益		
受取利息	67	90
受取配当金	1,196	1,128
持分法による投資利益	541	467
為替差益	—	283
その他	1,201	1,305
営業外収益合計	3,007	3,276
営業外費用		
支払利息	1,766	1,556
固定資産除却損	310	714
為替差損	412	—
その他	628	799
営業外費用合計	3,117	3,070
経常利益	23,576	12,301
特別利益		
固定資産売却益	177	1,441
その他	—	25
特別利益合計	177	1,466
特別損失		
災害による損失	159	215
投資有価証券評価損	1,302	36
その他	419	275
特別損失合計	1,882	527
税金等調整前四半期純利益	21,871	13,240
法人税、住民税及び事業税	2,473	2,050
法人税等調整額	1,750	2,150
法人税等合計	4,224	4,200
少数株主損益調整前四半期純利益	17,647	9,040
少数株主利益	1,695	1,236
四半期純利益	15,951	7,803

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,647	9,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,067	△1,311
繰延ヘッジ損益	△1	6
土地再評価差額金	297	—
為替換算調整勘定	△704	166
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	△4
その他の包括利益合計	△5,513	△1,142
四半期包括利益	12,133	7,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,669	6,764
少数株主に係る四半期包括利益	1,464	1,133

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品・ 産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	146,929	124,029	70,719	17,295	7,332	366,307	—	366,307
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	55,216	13,236	26,705	1,534	6,092	102,785	△102,785	—
計	202,146	137,266	97,425	18,830	13,424	469,093	△102,785	366,307
セグメント利益	7,497	10,656	3,285	1,184	1,065	23,689	△3	23,686

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品・ 産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	130,336	103,783	70,245	24,640	6,779	335,785	—	335,785
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	48,000	12,254	22,674	1,392	7,716	92,038	△92,038	—
計	178,337	116,038	92,920	26,033	14,495	427,824	△92,038	335,785
セグメント利益	2,881	5,122	2,656	484	954	12,100	△4	12,095

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、会社組織の改定に伴い、報告セグメントを従来の「特殊鋼鋼材」「電子・磁性材料」「自動車部品・産業機械部品」「エンジニアリング」「新素材」および「流通・サービス」の6区分から、「特殊鋼鋼材」「機能材料・磁性材料」「自動車部品・産業機械部品」「エンジニアリング」および「流通・サービス」の5区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足説明資料

平成25年1月31日
大同特殊鋼株式会社

平成25年3月期 第3四半期決算発表

連 結

(1) 当第3四半期のセグメント別売上高
(単位：百万円、%)

	24年12月 (前年同期差)		
	第3四半期	増減額	増減率
特殊鋼鋼材	130,336	-16,593	-11.3
機能材料・磁性材料	103,783	-20,246	-16.3
自動車・産業機械部品	70,245	-474	-0.7
エンシ`ニアリンク`	24,640	7,345	42.5
流通・サービ`s	6,779	-553	-7.5
計	335,785	-30,521	-8.3

(2) 要約連結損益計算書 (四半期累計期間)
(単位：百万円、%)

	24年12月 (前年同期差)		
	第3四半期	増減額	増減率
売上高	335,785	-30,521	-8.3
営業利益	12,095	-11,590	-48.9
営業外収益	3,276	268	—
営業外費用	3,070	-47	—
経常利益	12,301	-11,274	-47.8
特別利益	1,466	1,289	—
特別損失	527	-1,354	—
税引前純利益	13,240	-8,630	—
法人税等	4,200	-23	—
少数株主利益	1,236	-458	—
当期純利益	7,803	-8,147	-51.1

(3) 当第3四半期の経常利益増減要因 (前年同期対比)

(単位：億円) (参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	23年12月 第3四半期	24年12月 第3四半期	
1. 原燃料等市況	8.2	1. 販売数量減少	7.0	H2建値 (千円/t)	29.5	21.4
2. 営業外損益	3	2. 販売価格下落	9.7	ニッケル(LME) (\$/1b)	9.78	7.63
		3. 内容構成差他	1.1	モリブデン(MW) (\$/1b)	14.9	12.3
		4. 固定費の増加	8			
		5. 変動費悪化	1.2			
計(a)	8.5	計(b)	19.8			
		差引(a) - (b)	-11.3			

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 24年3月末	当第3四半期 24年12月末	増減	科目	前期 24年3月末	当第3四半期 24年12月末	増減
流動資産	264,965	239,782	-25,183	負債	281,456	260,581	-20,874
現金	62,161	54,906	-7,255	営業債務	72,163	66,939	-5,224
営業債権	102,995	83,885	-19,109	有利子負債	156,336	148,540	-7,795
たな卸資産	90,920	92,664	1,743	その他	52,956	45,101	-7,854
その他	8,887	8,326	-561				
固定資産	248,003	256,358	8,355	純資産	231,512	235,559	4,046
有形固定資産	156,412	158,857	2,445	株主資本	192,223	196,979	4,756
無形固定資産	2,523	3,594	1,070	その他の包括利益 累計額	6,430	5,391	-1,039
投資その他の資産	89,067	93,907	4,839	少数株主持分	32,858	33,187	329
資産合計	512,968	496,140	-16,827	負債純資産合計	512,968	496,140	-16,827

(5) 予想セグメント別売上高

	予想 (前期差)			(前回予想値との差)	
	25年3月期	増減額	増減率	増減額	増減率
特 殊 鋼 鋼 材	170,900	-24,084	-12.4	-4,300	-2.5
機能材料・磁性材料	135,900	-28,698	-17.4	-5,000	-3.5
自動車・産業機械部品	91,600	-2,570	-2.7	-1,500	-1.6
エンジン・エアリンク	32,600	6,831	26.5	400	1.2
流通・サービス	9,000	-632	-6.6	400	4.7
計	440,000	-49,154	-10.0	-10,000	-2.2

(6) 業績予想

	予想 (前期差)			(前回予想値との差)	
	25年3月期	増減額	増減率	増減額	増減率
売 上 高	440,000	-49,154	-10.0	-10,000	-2.2
営 業 利 益	13,500	-18,033	-57.2	-4,000	-22.9
経 常 利 益	13,500	-18,262	-57.5	-3,500	-20.6
当 期 純 利 益	8,500	-14,217	-62.6	-1,500	-15.0

(7) 予想経常利益増減要因 (前期対比)

(単位: 億円)

(参考: 原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	前 期 24年3月期	予 想 25年3月期
1. 原燃料等市況	87	1. 販売数量減少	111	H2 建値 (千円/t)	28.8
		2. 販売価格下落	124	ニッケル(LME) (\$/lb)	9.56
		3. 内容構成差他	25	モリブデン(MW) (\$/lb)	14.7
		4. 変動費悪化	7		
		5. 営業外損益	3		
計 (a)	87	計 (b)	270		
		差引 (a) - (b)	-183		

(8) 予想経常利益増減要因 (前回予想値対比)

(単位: 億円)

(参考: 原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	前回予想 25年3月期	予 想 25年3月期
1. 固定費圧縮	11	1. 販売数量減少	37	H2 建値 (千円/t)	21.3
2. 営業外損益	5	2. 原燃料等市況	8	ニッケル(LME) (\$/lb)	7.80
		3. 内容構成差他	6	モリブデン(MW) (\$/lb)	12.9
計 (a)	16	計 (b)	51		
		差引 (a) - (b)	-35		

(参考) 業績の推移

(単位: 百万円)

	実績				予想
	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期
売 上 高	532,655	362,507	472,062	489,154	440,000
営 業 利 益	9,115	△ 14,050	32,730	31,533	13,500
経 常 利 益	8,533	△ 13,994	31,726	31,762	13,500
当 期 純 利 益	△ 8,147	△ 14,610	23,003	22,717	8,500